

事業計画

※（ ）内の金額は前年度予算額

【公益1】県民スポーツ・文化推進事業 1,179,570千円（1,159,965千円）

1 競技力向上 276,943千円（271,161千円）

（1）目指せトップアスリート！わかとりっこ育成事業 1,526千円（1,526千円）

小学生にスポーツに触れる機会を提供することにより、スポーツに興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、ジュニア育成へとつなげ、未来のトップアスリートを目指すきっかけとするため、「わかとりっこ体験会」を実施する。（10競技程度）

（2）カテゴリー別合同練習会 8,910千円（9,029千円）

小学校高学年と中学1年、中学3年と高校1年など、校種をまたいで合同練習会を実施することにより、進学後における一貫した指導体制を維持し、組織的な強化を図る。（37競技）

（3）ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業 5,000千円（4,800千円）

従来からの特定のジュニアクラブにゴルフ競技を加えて指定し、クラブチームの育成、活性化、大会参加等に対して支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。（21競技25クラブ）

（4）運動部活動活性化事業 28,319千円（28,651千円）

①中学生選抜選手育成・強化支援 7,186千円（7,164千円）

競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。（21競技）

②高等学校運動部指定合宿等支援 6,890千円（6,875千円）

高校の運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を図るため、各競技の運動部を指定し、強化合宿等に要する経費に対して支援を行う。

・配分方法：A、Bに区分して配分

・配分先：24校33競技72部

③高等学校運動部指定特別指導者確保支援 8,100千円（7,936千円）

指定した運動部への指導者配置に要する経費に対して支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

・鳥取城北高校（相撲）

・鳥取敬愛高校（バドミントン）

④高等学校運動部指定外部指導者支援 6,143千円（6,676千円）

指定した運動部への外部指導者配置に要する経費に対して支援を行うことにより、競技力の向上を図る。（10校21名）

- (5) 県外優秀アスリート受入支援事業 6,900 千円 (3,900 千円)
県立高校へ入学する県外優秀アスリートの受入体制に対して支援を行う。
・八頭高校ホッケー部 (前年：9名→本年：17名)
・岩美高校バレーボール部 (前年：4名→本年：6名)
- (6) 特別ジュニア選手指定強化事業 39,976 千円 (39,976 千円)
競技団体が指定する国スポ等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することにより、国スポをはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。
(26競技28種目)
- (7) 鳥取ジュニアアスリート育成強化事業 14,250 千円 (10,481 千円)
テニス競技と柔道競技が追加され、県が認定したジュニアアスリートに対する強化育成事業を実施する。(前年：14競技185名→本年：16競技208名)
- (8) 大学部指定強化事業 500 千円 (500 千円)
大学の運動部を指定し、強化事業を実施する。
・指定方法：A～Dの4区分に分けて配分
・配分先：2大学6部
- (9) 社会人等選手指定強化事業 26,949 千円 (28,455 千円)
競技団体が指定する国スポ等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することにより、国スポをはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(26競技28種目)
- (10) 成年団体競技強化チーム支援事業 1,519 千円 (1,519 千円)
県内の高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に要する経費に対して補助を行う。
・チアフル鳥取 (バドミントン)
・米子クラブ (アイスホッケー)
- (11) 優秀選手確保事業 2,000 千円 (1,500 千円)
成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に対して補助を行う。
(1人当たり1,000千円)
- (12) 特別指定競技強化事業 13,033 千円 (12,499 千円)
令和3年度から5年間のビジョン、強化策等プレゼンテーションの結果を踏まえ、県内外の強化合宿等に要する経費に対して補助を行い、集中的な強化事業を展開することにより、国スポでの成績向上を図る。(9競技10種目)
- (13) 指導者の育成確保事業 6,909 千円 (7,184 千円)
①ジュニア指導者講習会 3,000 千円 (3,367 千円)

ジュニアの指導にあたる指導者を対象にした講習会を開催することにより、指導者自身の資質向上を図るとともに、県内指導者間の指導方法の共有化を促進する。(37競技)

②指導者の育成事業 3,664千円(3,664千円)

県内指導者を国内トップレベルの指導者のもとへ派遣、又は県外から優秀指導者を招へいして講習会等を行うことにより、県内指導者の資質向上や指導体制の充実を図る。

(25競技27種目)

③公認指導者資格取得・更新補助事業 245千円(153千円)

国スポの監督資格要件とされる日本スポーツ協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費に対して、その1/2を補助する。

(14) 環境整備事業 60,184千円(61,918千円)

①強化練習用消耗品等対策事業 19,020千円(19,263千円)

国スポに参加する上で必要となる消耗品、使用料、作曲料、運搬料等に対して、その特殊性を考慮し補助を行う。(12競技13種目)

②国スポ等強化備品整備事業 39,262千円(40,749千円)

国スポ参加や強化に必要な強化備品の整備を行う。(11競技)

③安全管理対策事業 1,902千円(1,906千円)

国スポ候補選手のスポーツ安全保険料に対して補助を行うことにより、強化事業に安心して専念できる体制を整える。(41競技)

(15) 医・科学サポート事業 4,000千円(5,366千円)

医事、栄養及びドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会や栄養知識及び普及に関する講習会を開催するほか、筋力トレーニング等の充実、スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。

(16) 強化推進事業 1,080千円(1,080千円)

競技団体と連携を図るための、連絡、調整、指導、視察、会議等に要する経費

(17) アンチ・ドーピング教育・啓発事業(日本スポーツ協会委託事業) 32千円(32千円)

- ・指導者、選手を対象とした講習会の開催
- ・アンチ・ドーピングに関する啓発

(18) 競技力向上のための指導者確保事業 14,231千円(13,237千円)

競技力向上のために優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。

- ・体育指導員2名配置(セーリング、スポーツクライミング)

(19) JOC競技別強化拠点整備等事業 14,702千円(13,552千円)

JOC競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリーナ及び倉吉体育文化会館にコーチングスタッフを配置し、競技力向上のための機能や利便性の向上を図る。

- ・ 体育指導員 2 名配置（セーリング、スポーツクライミング）

(20) 競技力向上事業運営費 26,923 千円 (25,956 千円)
競技力向上担当職員 4 名分

2 国民スポーツ大会事業 107,758 千円 (121,239 千円)

(1) 国スポ県予選会の開催 3,437 千円 (2,694 千円)

競技団体へ委託して、国スポ選手選考のための県予選会を開催する。また、熱中症対策のため、冷房代を追加し、安全な運営を支援する。（40 競技）

(2) 中国ブロック大会等への選手団派遣 29,463 千円 (37,982 千円)

①国スポ中国ブロック大会

- ・ 期 日：令和 7 年 5 月～12 月
- ・ 開催地：鳥取県内の各会場等（前年：島根県）
- ・ 競技数；水泳（水球）他 30 競技

②フィギュアスケート全国予選会

- ・ 期 日：令和 7 年 1 2 月
- ・ 開催地：未定

(3) 第 79 回国スポ及び第 80 回国スポ冬季大会への選手団派遣 73,571 千円 (79,276 千円)

①第 79 回国スポ（会期前・本大会）

- ・ 期 日：（会期前）令和 7 年 9 月 6 日～15 日、9 月 21 日～25 日
（本大会）令和 7 年 9 月 28 日～10 月 8 日
- ・ 開催地：滋賀県（一部県外）（前年：佐賀県）
- ・ 競技数：陸上競技他 36 競技

②第 80 回国スポ冬季大会

《スケート・アイスホッケー競技》

- ・ 期 日：令和 8 年 1 月 31 日～2 月 8 日
- ・ 開催地：青森県八戸市（前年：岡山県、群馬県）

《スキー競技》

- ・ 期 日：令和 8 年 2 月 14 日～17 日
- ・ 開催地：青森県平川市（前年：秋田県）

(4) 国スポ等派遣選手指導費 1,287 千円 (1,287 千円)

県内外の各種大会や強化事業に出向くとともに、競技団体と情報交換を行い、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。

3 わかとり国体開催記念スポーツ振興事業 ㊦ 1,000 千円 (1,000 千円)

(1) 国民スポーツ大会入賞激励金支給事業

国スポで入賞した競技(種別)に対して、激励金を支給する。

(2) 強化推進費

競技力向上を推進するための経費

4 生涯スポーツ推進 29,910 千円 (32,326 千円)

(1) 広域スポーツセンター事業 13,806 千円 (14,109 千円)

① 総合型地域スポーツクラブ運営改善事業 320 千円 (320 千円)

総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブの設立及び運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。

- ・研修会 1 回、派遣 2 回

② クラブアドバイザー配置事業 4,838 千円 (5,855 千円)

総合型地域スポーツクラブの設立及び運営支援等を行うため、クラブアドバイザー(1名)を配置する。

③ クラブアシスタントマネジャー研修事業 172 千円 (170 千円)

総合型地域スポーツクラブのマネジメントに必要な基礎知識を有する人材を養成するため、総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象とした資格取得のための研修会を行う。(年 1 回)

④ 広域スポーツセンター運営費 8,326 千円 (7,636 千円)

広域スポーツセンター担当職員 1 名分

⑤ 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 150 千円 (128 千円)

総合型地域スポーツクラブが公益性の高い持続可能な「社会的な仕組み」として地域社会に定着することを目的として、県内の総合型地域スポーツクラブの相互交流と活動支援等を行う。

(2) 第 26 回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業 7,482 千円 (7,482 千円)

広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を提供することにより、県民一人一人の参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

《夏季大会》

- ・種目数：4 種目
- ・期 日：令和 7 年 8 月 23 日、24 日
- ・会 場：西部地区を中心に全県で開催

《秋季大会》

- ・種目数：32 種目
- ・期 日：令和 7 年 10 月 25 日、26 日
- ・会 場：西部地区を中心に全県で開催

《冬季大会》

- ・種目数：5種目
- ・期 日：令和8年2月8日
- ・会 場：西部地区を中心に全県で開催

(3) 江原特別自治道体育会とのスポーツ交流事業 3,996千円(7,335千円)

当協会と江原特別自治道体育会との協定(平成13年11月6日締結)に基づいて、両県道のスポーツ交流を行う。令和7年度は鳥取県が江原特別自治道を訪問。

- ・交流競技：テニス競技(成年男女)、レスリング競技(少年男女)
- ・期 日：令和7年12月(予定)
- ・参加者：2競技の監督、選手、当協会役職員等

(4) 県民まるとスポーツ推進事業 3,400千円(3,400千円)

①親子deスポーツ推進事業(総合型) 1,116千円(1,116千円)

子育て世代を中心に親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識の高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、総合型地域スポーツクラブが開催する親子向け運動教室に対して支援する。(5クラブ程度)

②親子deスポーツ推進事業(競技団体) 1,102千円(1,102千円)

子育て世代を中心に親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識の高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、競技団体が開催する親子向け運動教室に対して支援する。(6競技程度)

③みんなdeユニスポ推進事業 1,182千円(1,182千円)

年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰でも気軽にスポーツを楽しむことのできる機会を提供することを目的とし、総合型地域スポーツクラブが開催する幅広い層を対象としたスポーツ教室に対して支援する。(6クラブ程度)

(5) 地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業 1,226千円(0円)

①地域スポーツ推進団体連絡会議として、本県体育・スポーツの普及とその活性化および各スポーツ主体相互の連携を図るため、公益財団法人鳥取県スポーツ協会・生涯スポーツ推進委員会(兼連絡会議)を開催する。

②スポーツによる地域課題解決に向けた取り組みとして、県内の総合型地域スポーツクラブの認知度を向上させるとともに地域のスポーツ推進に寄与するため、総合型地域スポーツクラブに係る情報冊子を作成し広報する。

5 スポーツ少年団育成事業(日本スポーツ協会助成事業等) 4,662千円(23,970千円)

(1) 県競技別交流大会開催事業 590千円(570千円)

各地区を代表するスポーツ少年団が参加する県交流大会を開催する。

① 軟式野球交流大会

- ・期 日：令和7年6月下旬

- ・会 場：東部地区
 - ② ミニバスケットボール交流大会
 - ・期 日：令和7年9月下旬
 - ・会 場：東部地区
 - ③ 剣道交流大会
 - ・期 日：令和7年10月中旬
 - ・会 場：西部地区
 - ④ バレーボール交流大会
 - ・期 日：令和7年10月下旬
 - ・会 場：中部地区
- (2) 中国ブロックスポーツ少年団交流事業 680 千円 (780 千円)
- 本県で、中国ブロックミニバスケットボール交流大会を開催する。
- ・期 日：令和7年11月上旬
 - ・会 場：西部地区
- (3) 中国大会派遣事業 140 千円 (244 千円)
- 中国ブロック競技別交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。
- ① 男子バレーボール (島根県)
 - ② バドミントン (山口県)
 - ③ スポーツ少年大会、リーダー研究大会 (岡山県)
- (4) 全国大会派遣事業 375 千円 (273 千円)
- 全国スポーツ少年団交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。
- ① 軟式野球 (三重県)
 - ② バレーボール女子 (京都府)
 - ③ 剣道 (富山県)
 - ④ スポーツ少年大会 (佐賀県)
- (5) 中央講習会派遣事業 29 千円 (29 千円)
- スタートコーチ (ジュニア・ユース) 養成講習会の講師を養成するため、スタートコーチ (ジュニア・ユース) インストラクター養成講習会へ派遣する。
- (6) スタートコーチ (ジュニア・ユース) 養成講習会開催事業 155 千円 (155 千円)
- 単位団運営に必要とされる指導者資格である「スタートコーチ (ジュニア・ユース)」資格を取得するための講習会を開催する。
- ・期 日：令和7年11月15日
 - ・会 場：鳥取県立倉吉体育文化会館
- ※単位団が日本スポーツ少年団に登録する場合、少なくとも2名以上の指導者がスポーツ少年団の理念を学んでいる必要があるとされている。

- (7) ジュニア・リーダースクール開催事業 64 千円 (140 千円)
 将来のスポーツ少年団指導者の育成を図るため、ジュニア・リーダースクールを開催する。
 ・期 日：令和7年9月上旬
 ・会 場：鳥取県立船上山少年自然の家
- (8) 地区別交流大会開催費 601 千円 (601 千円)
 東・中・西部地区で開催される交流大会費用を助成する。
- (9) 地区別指導者研修費 151 千円 (151 千円)
 東・中・西部地区で開催される指導者研修費用を助成する。
- (10) スポーツ少年団本部運営費 1,877 千円 (1,947 千円)
- (終了) (臨) 日本スポーツ少年団中国・四国ブロック会議開催事業 0 円 (847 千円)
- (終了) (臨) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会事業 0 円 (18,233 千円)
- 6 スポーツ協会表彰事業 ㊦ 1,300 千円 (1,100 千円)
 表彰規程に基づいて、本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績をあげた選手について、表彰選考委員会の審査により被表彰者を決定し、表彰する。
 ・期 日：令和8年2月(予定)
 ・場 所：白兔会館
 ・表彰内訳
 優良団体賞：2団体程度
 体育功労章：若干名
 優秀指導者賞：若干名
 特別賞：国際大会出場者等
 スポーツ賞：全国大会等上位入賞
 スポーツ敢闘賞：全国大会等下位入賞
 スポーツ奨励賞：全国規模大会入賞者
- 7 公認コーチ養成事業 (日本スポーツ協会委託事業) 1,411 千円 (1,625 千円)
- (1) 公認コーチ養成講習会の開催 961 千円 (1,164 千円)
 ・コーチ1養成講習会 (実施競技未定)
- (2) 公認コーチ育成事業 450 千円 (461 千円)
 ・スポーツ指導者研修会の開催 (年2回)
 ・指導者育成関係事業事務費

8 賛助会費事業 ㊦

810 千円 (1,000 千円)

(1) ジュニア期の一貫指導・育成支援事業

全国大会で入賞実績のない高校の運動部を指定し、全国レベル到達を目的に支援を行う。

(2) 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

総合型地域スポーツクラブの知名度向上のため、総合型地域スポーツクラブが連携して活動の活性化を図る事業を支援する。

(3) 賛助会運営費

賛助会を運営するための経費

9 スポーツ安全保険業務受託事業

4,108 千円 (3,965 千円)

公益財団法人スポーツ安全協会と委託契約を締結し、スポーツ安全保険業務を行う。

10 施設基金実施事業 ㊦

351 千円 (351 千円)

(1) ガイナーレ鳥取支援事業

51 千円 (51 千円)

ガイナレ鳥取への支援を行い、本県スポーツの充実を図るとともに地域活性化に寄与する。

(2) 備品整備事業

300 千円 (300 千円)

県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行うため、備品の整備（公用車の維持・修繕等）を行う。

11 スポーツスクエア整備事業

500 千円 (500 千円)

県民のスポーツへの興味、関心を高めるため、本県のスポーツ・体育の歴史を紹介する展示物を当協会が管理する施設（布勢総合運動公園他）で展示する。

12 指導者人材バンク推進事業

600 千円 (600 千円)

子どもたちがスポーツ活動に継続して親しむことが出来るよう、スポーツ指導者に人材バンクへ登録してもらい、その情報を提供する。

1 3 体育施設管理・運営

750,217 千円 (733,135 千円)

鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

() 内は前年度の人数及び予算額

区分	布勢総合 運動公園	鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	皆生 市民プール	米子産業 体育館	武道館	合計
利用予定 人員	948,287人 (934,000人)	体63,000人 (90,592人) プ56,500人 (54,945人)	87,000人 (87,000人)	145,000人 (144,000人)	111,000人 (110,000人)	1,410,787人 (1,420,537人)
利用収入 等金額	56,258千円 (56,201千円)	21,457千円 (26,689千円)	25,010千円 (23,940千円)	22,830千円 (22,830千円)	10,939千円 (10,939千円)	136,494千円 (140,599千円)
※収益2 の収益	9,227千円 (9,227千円)	618千円 (1,336千円)	693千円 (693千円)	1,980千円 (1,980千円)	2,790千円 (2,790千円)	15,308千円 (16,026千円)
支 出	400,510千円 (388,024千円)	116,674千円 (113,711千円)	70,113千円 (74,436千円)	65,506千円 (63,466千円)	97,414千円 (93,498千円)	750,217千円 (733,135千円)
県委託料	335,025千円 (322,596千円)	94,599千円 (85,686千円)	—	40,696千円 (38,656千円)	83,685千円 (79,769千円)	554,005千円 (526,707千円)
米子市 委託料	—	—	44,410千円 (49,803千円)	—	—	44,410千円 (49,803千円)
スポーツ 文化教室	【陸上】 ・陸上 I 教室 他3教室 【体育館】 ・卓球初級教室 他19教室	【体育館】 ・卓球教室 他12教室 【プール】 ・幼児水泳教室 他17教室	【プール】 ・幼児水泳教室 他21教室 【トレーニング ホール】 ・バドミントン 初級教室 他7教室	【年間教室】 ・サッカー教室 他11教室 【短期教室】 ・バドミントン 教室他1教室	【年間教室】 ・柔道年長・小学 生教室 他26教室 【短期教室】 ・弓道クリニック	
イベント	・いきいき健康長寿 事業9イベント ・スポーツ活性化事 業5イベント ・交流・地域活性事 業5イベント ・体験学習プログ ラム5イベント	・室内グラウン ド・ゴルフ大会 ・ローソンカップ 卓球大会 ・泳力検定 ・花ショウブ展示 会 他3イベント	・泳力測定会 ・水辺の安全教 室 ・ニュースポー ツ体験会 他5イベント	・新体操発表会 ・バドミントン大会 ・卓球大会	・武道・ユニバーサ ルススポーツ合同体 験会 ・小学生柔道大会 ・小学生剣道大会 ・空手道教室昇級 審査会 ・鏡開き式	
備 考		メインアリーナ、サブ アリーナ床改修工事 R7.5月～10月				

【収益 1】施設関連事業

189,735 千円 (279,001 千円)

体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

1 倉吉体育文化会館の管理運営

89,340 千円 (85,418 千円)

区 分	内 容
利用予定人員	160,000人 (160,000人)
利用収入等金額	20,342千円 (20,342千円)
支 出	89,340千円 (85,418千円)
県委託料	68,998千円 (65,076千円)
スポーツ教室	さわやか健康教室 他 1 2 教室
文化教室	フラワーアレンジメント教室 他10教室
イベント	【スポーツイベント】 ・ボルダリングコンペティション他 3 イベント 【文化イベント】 ・体文祭 他 1 イベント

() 内は前年度の人数及び予算額

2 倉吉自転車競技場の管理運営

100,395 千円 (193,583 千円)

(1) 倉吉自転車競技場管理運営

10,002 千円 (9,933 千円)

職員 3 名を配置し管理運営を行う。

(2) (新) 補助走路部分の改修工事

3,392 千円 (0 円)

改修工事箇所を追加により追加工事を行う。

(3) (繰越) 令和 6 年度走路改修工事

87,001 千円 (139,507 千円)

天候不良等による工事遅延のため繰越する。

「繰越計算書」

大科目	中科目	令和 6 年度執行済額	翌年度繰越額
指定正味財産	受取地公補助金	52,506 千円	87,001 千円

(終了) 倉吉自転車競技場整備 (新水源関係)

0 円 (44,143 千円)

【収益2】自動販売機設置事業

1,598千円(1,678千円)

当協会が管理する指定管理施設利用者の利便性の向上を図るため、当該施設に自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

単位；千円

施設名	収 入		支 出		収 益	
布勢総合運動公園	10,150	(10,150)	923	(923)	9,227	(9,227)
鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	686	(1,484)	68	(148)	618	(1,336)
皆生市民プール	770	(770)	77	(77)	693	(693)
米子産業体育館	2,200	(2,200)	220	(220)	1,980	(1,980)
武道館	3,100	(3,100)	310	(310)	2,790	(2,790)
合 計	16,906	(17,704)	1,598	(1,678)	15,308	(16,026)

()内は前年度の予算額